

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 社 会

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	東書	<新編 新しい社会> 社会305・405・505・506・605・606
取扱内容 〔 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等 〕		<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育基本法に示される教育の目標達成と学習指導要領にある公民としての資質・能力の基礎を育成することに配慮された編修内容となっている。 ○ 地域社会に関する内容については、地図や写真から身近な地域の土地の様子、人々のくらしや産業の様子、自然災害への取組、文化財や郷土芸能等、地域の発展に尽くした人々について調べる活動や景観、古い町並みを生かしたまちづくりなどの特徴ある地域の事例を取り上げるなどの特色がある。 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については、地球儀や地図帳を用いて、北方領土等の日本の国土の様子や農業生産、工業生産について調べる活動や地形や気候に特色のある地域に暮らす人々、十勝地方の農業の事例を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容については、子育て支援や災害復興における政治の働き、日本の世界文化遺産や日本遺産などについて調べる活動やグローバル化する世界と日本の役割の学習において、日本と外国の人々の文化や活動の違いについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動を取り上げるなどの特色がある。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、身近な地域の様子や課題、我が国の産業、世界と日本の役割などの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、調べ、話し合い、学んだことを基に判断するなど、社会的な事柄に参画する場面を設けるなどの特色がある。
内容の構成・分量等 排 列		<ul style="list-style-type: none"> ○ 空間、時間、相互関係の3つの視点や方法を囲みとして設けるなど、見方・考え方を働かせて学習が進められるよう構成されており、小單元ごとに学習問題、課題追及、課題解決などが示され、問題解決的な学習を進めることができるような工夫がなされている。 ○ 自然災害については、風水害や地震から人々を守る活動（第4学年）、地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害（第5学年）、災害復興の願いを実現する政治の取組（第6学年）について取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 複数の事例から地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるようになっている。 ○ 第3・4学年は総ページ数 312 ページ（前回より5%減）、第5学年は総ページ数 260 ページ（6%減）、第6学年は総ページ数 280 ページ（3%減）となっている。
使用上の配慮等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 寒い土地のくらしにかかわる学習においては、雨温図による気温と降水量の比較、北海道の家や雪対策と雪を生かした観光、北海道の自然を生かした農業として十勝の農家について取り上げるなど、児童の学習意欲を高めるような工夫がなされており、大変よくできている。 ○ 単元のめあてや学習問題を構造的に明示するとともに、学習段階（つかむ、調べる、まとめる、いかす）を示したり、「まなびのポイント」や「学び方コーナー」を設けたりするなど、児童の主体的な学びに適している。 ○ 二次元コードを読み取ることで、動画、ワークシート、ウェブ資料などの多様なQRコンテンツを活用できるなど、学びを広げるような工夫がなされている。 ○ 第5・6学年が学年ごとに2冊に分冊となっており、持ち運びや学びやすさなどを考慮するなど、造本上の特色がある。 ○ 読みやすさを追究したUDフォントを用いるなど、使用上の便宜が図られている。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方領土については、都道府県についての学習における地図への表記、竹島や尖閣諸島等が本文、地図、写真を用いて取り扱われている。 ○ アイヌ民族については、くらしや文化（第5学年）、交易などの歴史的な内容（第6学年）について取り上げられている。 ○ SDGsについては「SDGsについて考えよう」（第5学年）、「世界の未来と日本の役割」（第6学年）において、世界の課題と関連付けて学習できるような工夫がなされている。

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 社 会

番号 観 点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
		教出
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の変化や課題に自ら対応していく資質や能力を育成するために、問題解決的な学習を基調とした編修内容となっている。 ○ 地域社会に関する内容については、昔の生活の様子や文化財、伝統芸能、北海道の新田開発等、地域の発展に尽くした人々について調べる活動を通して、伝統と文化を尊重する態度を養い、地域社会に対する愛着が深められるような工夫がなされている。 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については、地球儀や地図帳を用いて、北方領土等の日本の国土の様子について調べたり、米づくりに関する人々の安全性や品質を高める努力について考えたりする活動を通して、国土に対する理解や勤労を重んじ、社会の発展に寄与する態度が養われるような工夫がなされている。 ○ 我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容については、よりよい社会の形成について考えたり、我が国の歴史や文化を尊重し、誇りと愛情が育まれたりするよう、地域の子育て支援の取組、その制度の成立過程における政治の働きや条約改正が達成されるまでの出来事等について調べる活動を取り上げるなどの特色がある。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習計画の立て方が例示され、見通しをもった学び方を身に付けられるように工夫がなされていたり、ICTを活用した活動や「まとめる」「つなげる」段階での多様な対話的な活動の例が紹介されていたりするなどの特色がある。 	
内容の構成・ 分量等 排 列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年において、前学年までの既習事項を取り上げたり、巻末にキーワードの一覧(第3・4学年)を掲載し、当該学年で学習した内容を振り返ったりできるなどの特色がある。 ○ 自然災害については、水害・火山・雪害に備える取組(第4学年)、東日本大震災等のこれまでの災害に対する対策(第5学年)、災害からの復旧や復興に向けた政治の取組や雪とともに生きる暮らしを支える政治の取組(第6学年)について取り上げるなど、児童が主体的に考えることができるような工夫がなされている。 ○ 複数の事例から地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるようになっている。 ○ 第3・4学年は総ページ数392ページ(前回より2%増)、第5学年は総ページ数260ページ(3%増)、第6学年は総ページ数296ページ(7%増)となっている。 	
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 寒い土地のくらしにかかわる学習においては、北海道の観光や農業、漁業、アイヌの人たちの文化について掲載したり、我が国の政治の働きの学習において、札幌市の雪対策の取組を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高めるような工夫がなされている。 ○ 見開きページにインデックスを設けたり、巻頭に学習の進め方を振り返る視点を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 二次元コードから動画、ワークシート、クイズ等のデジタルコンテンツを活用できるなど、関心や意欲を高め、楽しく学ぶことができるような工夫がなされている。 ○ 第6学年では白黒写真をAI技術によりカラー化した画像で掲載するなどの特色がある。 ○ 読みに困難さがある児童にも読みやすく配慮したUDフォントを用いるなど、使用上の便宜が図られている。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方領土については、「日本の国土のすがた」等において、本文、地図、写真を用いて取り扱われている。 ○ アイヌ民族については、アイヌの人たちの文化(第5学年)、先住民族の人権やウポポイ(第6学年)について掲載するなど、伝統や文化を尊重することの大切さに気付かせる工夫がなされている。 ○ SDGsについては、学んだことをSDGsとつなげて振り返ることにより、環境の保全に向けて意識を高め、社会に参画する態度が養われるような工夫がなされている。 	

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 社 会

番号 観 点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
	日 文	<小学社会> 社会308・408・508・608
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な知識や技能を確実に習得させるとともに、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする問題解決的な学習過程を通じて、子どもが学びの主役となることに重点を置いた編修内容となっている。 ○ 地域社会に関する内容については、身近な地図を作成する活動や自分たちの住む町の様子について話し合う活動、用水路の開発や北海道の医療に携わった人々の事例を通して、地域への誇りと愛着が深められるような工夫がなされている。 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については、北方領土等の日本の国土の様子を地図帳や地球儀で調べたり、産業に従事する人々の工夫や努力を調べたりする活動を通して、勤労を重んずる態度を育てるような工夫がなされている。 ○ 我が国の歴史や政治、国際理解に関する内容については、待機児童の問題への取組を取り上げ、私たちの生活と政治のかかわりについて考える活動やグローバル化された社会の中での日本と諸外国との関係を調べる活動を通して、今後の諸外国との関わり方について考えたり、歴史学者のコラムを通して、歴史的事象について学ぶとともに歴史を学ぶ意義について考えたりすることができるなどの特色がある。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、自分たちで課題を見出し、学習計画を立て、追究したり、解決したり、深め合ったりする活動や「見方・考え方コーナー」を設けるなど、社会的な見方や考え方を働かせながら課題解決できるような工夫がなされている。 	
内容の構成・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用語解説「キーワード」を配置し、児童の理解を助けるような工夫がなされている。 ○ 自然災害については、地形や気候との関わり、災害復興に向けた取組や国、県、市の役割などが記載され、風水害、地震、津波、火山、雪害（第4学年）、自然災害から身を守る工夫（第5学年）、自然災害からの復旧・復興（第6学年）について取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 複数の事例から地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるようになっている。 ○ 第3・4学年は総ページ数394ページ（前回より10%増）、第5学年は総ページ数296ページ（5%増）、第6学年は総ページ数296ページ（5%増）となっている。 	
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 寒い土地のくらしにかかわる学習においては、旭川市の農業や観光について掲載するなど、児童の学習意欲を高めるような工夫がなされている。 ○ 学習活動に合わせた「学び方・調べ方コーナー」を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 二次元コードを配置することにより、児童の知的好奇心を高め、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 一人一人の色覚の違いを問わず、多くの子どもに見やすいよう、グラフや地図について色調や色の区別だけではなく、斜線やドットなどを使用したり、誰にでも読みやすいようにUDフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方領土については、択捉島の町の様子等が写真で掲載されたり、本文、地図を用いたりして取り扱われている。 ○ アイヌ民族については、アイヌ文化を守るための法律や文化復興の拠点として「ウポポイ」について取り上げられている。 ○ SDGsについては巻末に添付しているシールを活用することで、学習内容とSDGsとの関連について考えることができるような工夫がなされている。 ○ 過去の感染症の事例や新型コロナウイルス感染症について取り上げられている。 ○ 第4学年では北海道で活躍した日本最初の女医である荻野吟子を取り上げられている。 	